

コンドローテック株式会社

第74回 定時株主総会

2026年6月24日

株主総会議長

代表取締役社長 濱野 昇

監査報告

常勤監査等委員
監査等委員
監査等委員
監査等委員

西田 範夫
安田 加奈
徳田 琢
山岡美奈子

報告事項

1. 第74期事業報告、連結計算書類並びに
会計監査人及び監査等委員会の
連結計算書類監査結果報告の件
2. 第74期計算書類報告の件

外部環境

- 個人消費や民間設備投資に
持ち直しの動き
- 雇用・所得環境の改善
- 継続的な物価上昇・為替変動
- 中東情勢の緊迫化による
エネルギー価格・供給の懸念

先行き不透明な状況が続く

関連業界

- 公共投資 
- 民間設備投資 
- 住宅投資 

分野によって濃淡がある状況

連結業績結果



	前 期 (百万円)	当 期 (百万円)	前期比
売 上 高	79,175	83,949	+6.0%
営 業 利 益	4,465	4,644	+4.0%
経 常 利 益	4,679	4,851	+3.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,272	3,302	+0.9%

産業資材



足場吊りチェーン

売上高

(百万円)

37,328

39,536

前 期

当 期

セグメント利益

(百万円)

2,454

2,726

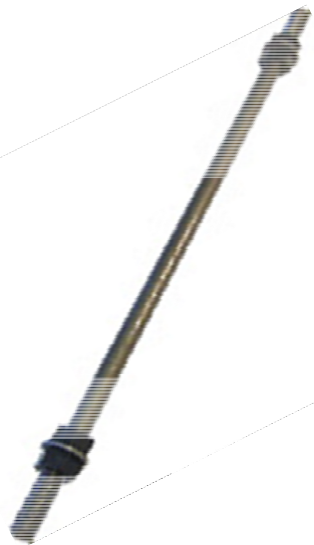
前 期

当 期

- 大口需要先の受注が堅調、価格転嫁による販売価格上昇
- 当期に子会社化した鈴東・琉球ブリッジの売上高が寄与
- 高付加価値製品の拡販などによる売上総利益率改善

セグメント別業績

鉄構資材



アンカーボルト

売上高

(百万円)

21,131

21,605

前期

当期

セグメント利益

(百万円)

1,394

1,254

前期

当期

- 大手取引先や各種加工関連の売上が堅調に推移
- 人件費や運賃を中心に販売費及び一般管理費の増加

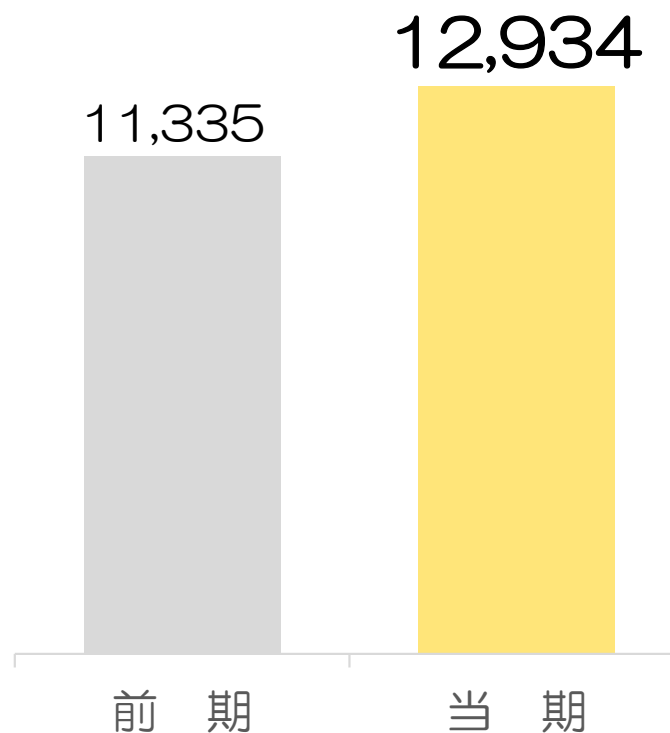
電 設 資 材



LED照明

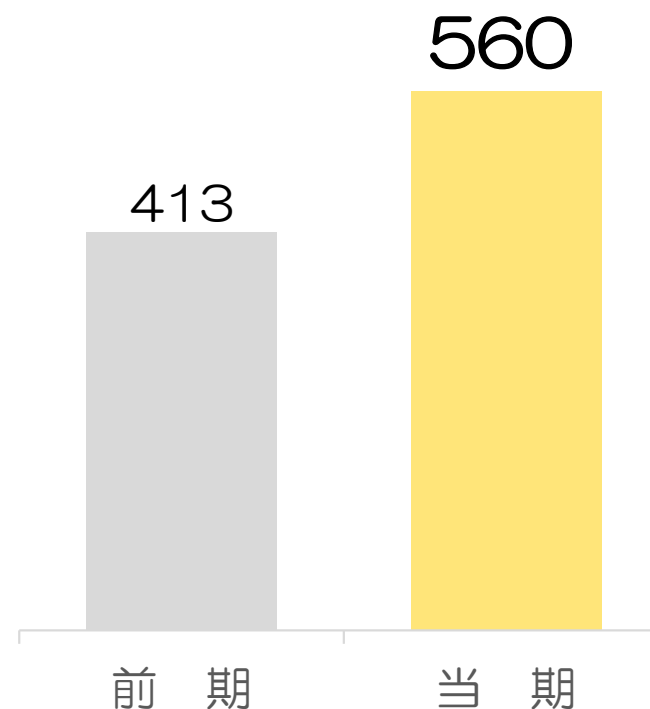
売 上 高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



- 高圧受変電設備、電線、太陽光発電設備、空調機器の売上が堅調に伸長
- 利益率の高い工事需要の取り込み、全社的な経費削減

セグメント別業績

足場工事



足場工事施工例

売上高

(百万円)

9,380

9,872

前期

当期

セグメント利益

(百万円)

248

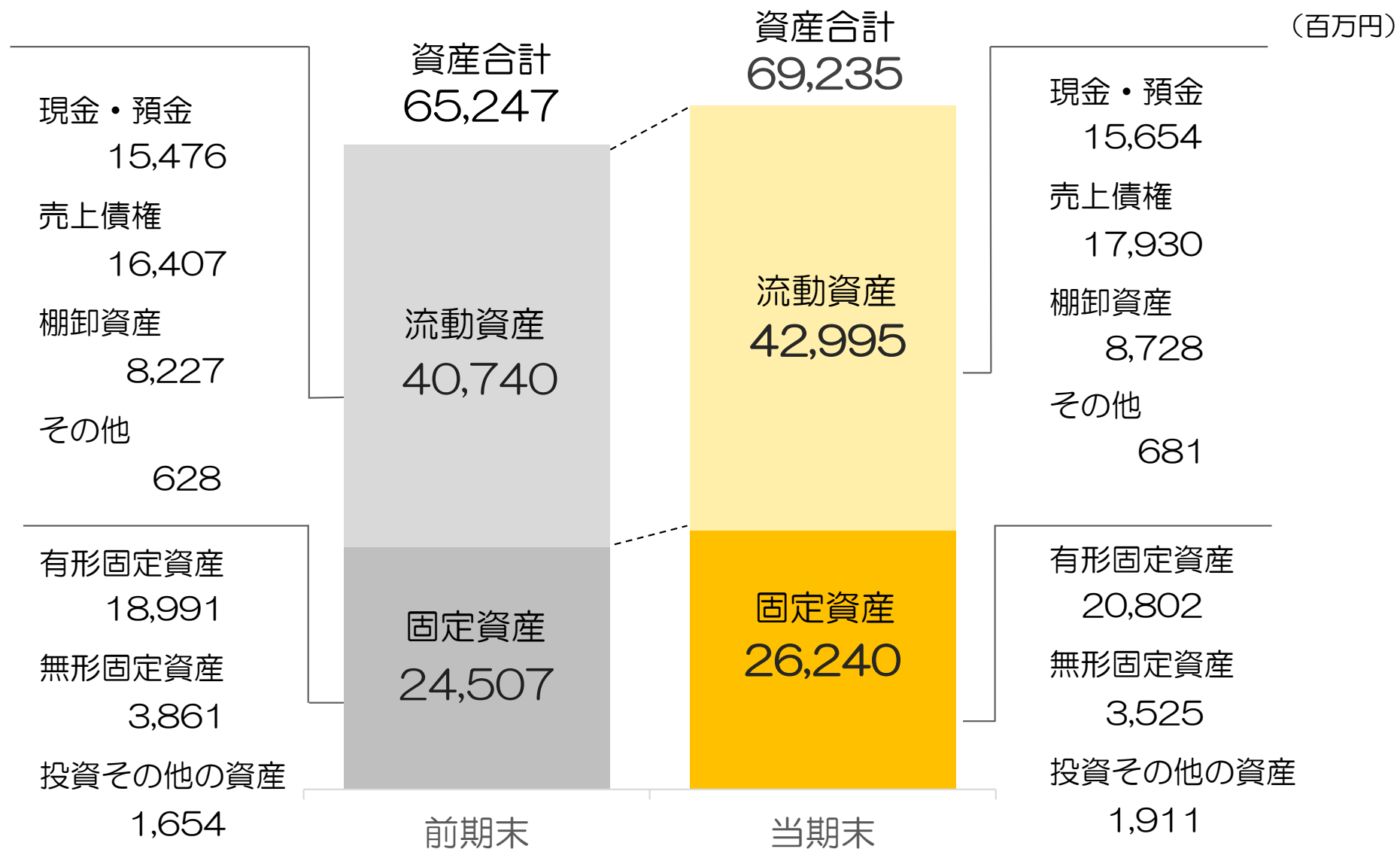
132

前期

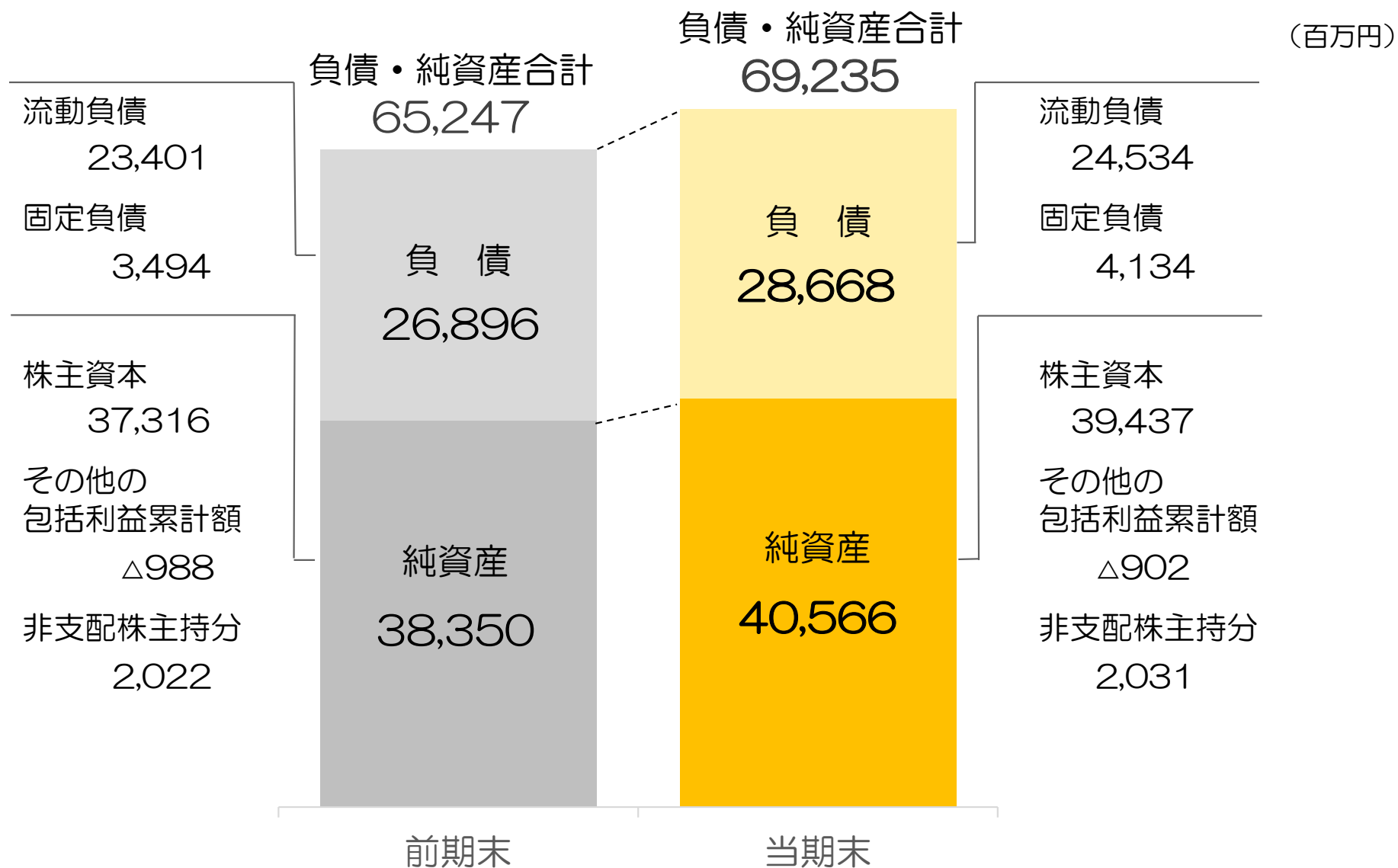
当期

- 橋梁・土木関連や大型物件向けの工事売上が好調に推移
- 前期に子会社化した上田建設の売上高が寄与
- 外注工事比率の増加等による売上総利益率の低下

連結貸借対照表（資産の部）



連結貸借対照表（負債・純資産の部）

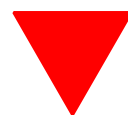


外部環境

- 雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかに回復
- 中東情勢の長期化に伴う資材・エネルギー価格の高騰や供給制約

関連業界

- 公共投資は底堅く推移
- 民間設備投資は大型物件を中心に持ち直し
- 建設業界の人手不足問題等起因する
 - ・ 工期の長期化
 - ・ 各種コストの増加

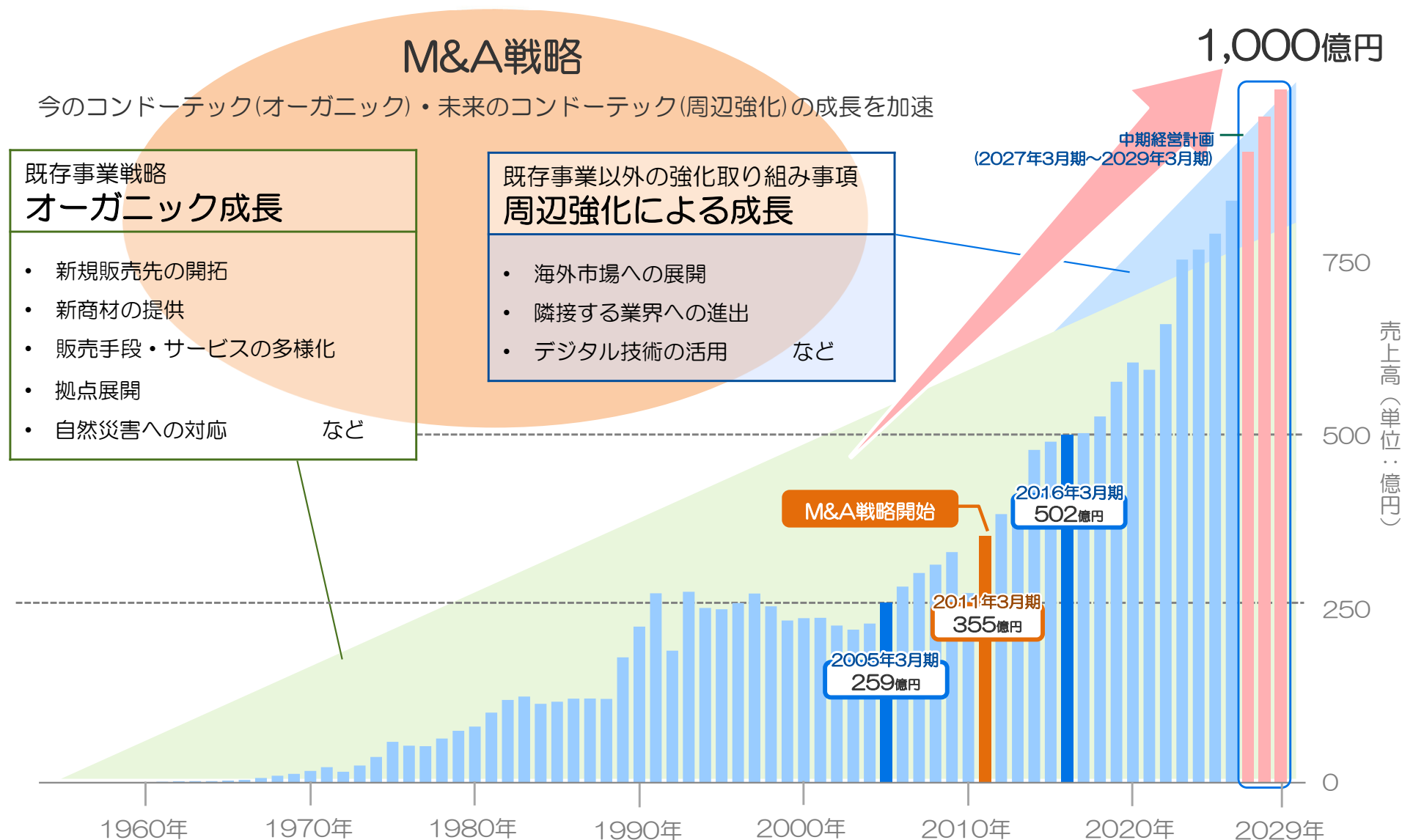


■ 当社グループの成長戦略

DX推進、物流機能・施工体制の拡充、生産性向上
新規販売先の開拓、新商材の拡販

成長戦略（売上高1,000億円を目指して）

成長戦略を推進し、既存コア事業の一層の収益力強化と今後成長が見込まれる分野への進出を進め、
2020年代中に売上高1,000億円を目指してまいります

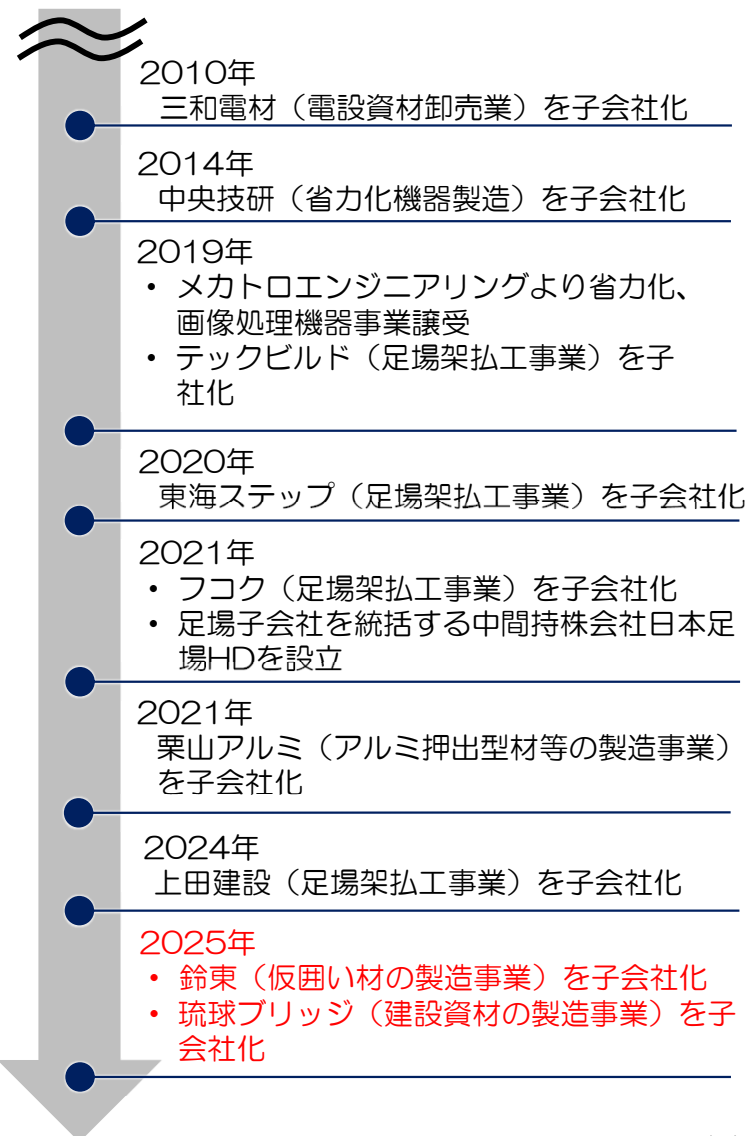


M&Aにおける4つの視点

企業の買収や資本・業務提携を、事業基盤の強化を図るための重要な戦略の一つと位置づけ



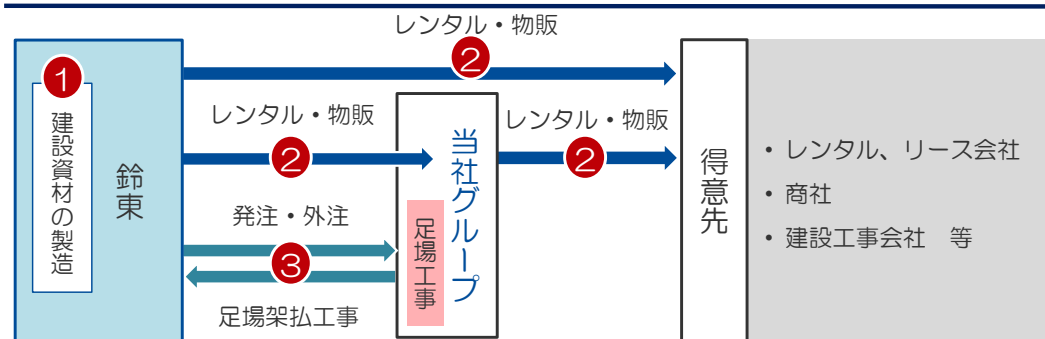
当社の事業展開



2025年11月 鈴東子会社化

商 号	鈴東株式会社
所 在 地	東京都千代田区
事業内容	建設資材の製造販売、鉄鋼卸業、仮設機材リース業、建設業
資 本 金	100百万円（2025年3月末時点）
拠 点	東京本社（東京都千代田区） 大阪営業所（大阪府箕面市） 千葉光町工場（千葉県山武郡）

想定されるシナジー



- 1 製造機能の拡充**
「安全鋼板」などの仮囲い材を内製化し、収益拡大を図る。
- 2 販売手段の拡充**
利益率の高いレンタル商材を拡充し、収益拡大を図る。
- 3 足場工事セグメントとの協業**
鈴東が請け負った工事を足場工事セグメントが請け負い、足場工事セグメントの収益拡大を図る。

主製品・商品

安全鋼板

建設現場などで使用される仮囲い材。国内工場で製造しており、お客様のニーズにあったサイズに加工することが可能。

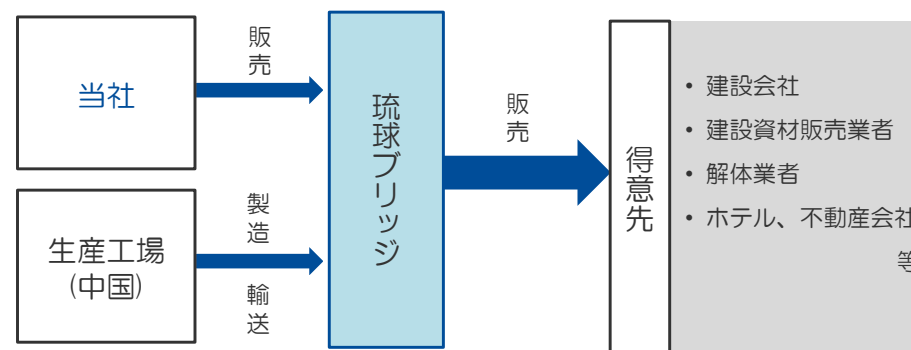


2025年12月 琉球ブリッジ子会社化

商 号	琉球ブリッジ株式会社
所 在 地	沖縄県浦添市
事業内容	建設資材の製造販売
資 本 金	8百万円（2025年5月末時点）

想定されるシナジー

今後も堅調な需要が見込まれる沖縄県の建設需要を取り込むとともに、琉球ブリッジが有する商品開発機能や海外ネットワークを通じて、当社グループの持続的成長と中長期的な企業価値向上を図ってまいります。



主製品・商品

フレコンバッグ

土木や産業廃棄物等の輸送・保管など、様々な場面で使用される大型土のう袋。
沖縄で企画・設計した商品を、中国の生産工場で製造。



配当（利益配分の基本方針）

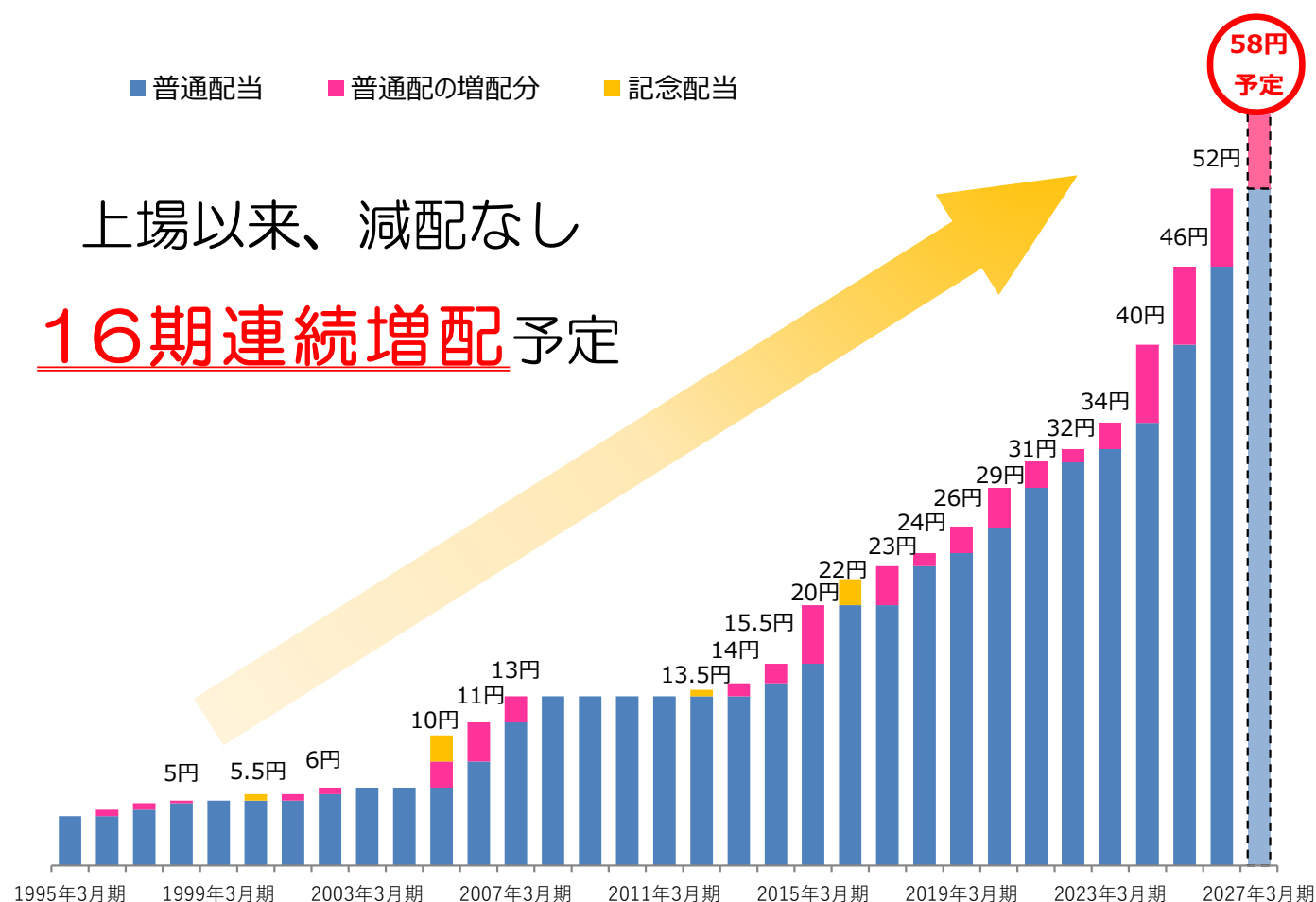


自己資本当期純利益率(ROE) 10.0%以上、連結純資産配当率(DOE) 4.0%以上

を目標に、継続的に増配を行う

※ DOE = 配当性向 × ROE

配当の推移



当期配当	中間	26 円
	期末	26 円
次期配当 (計画)	中間	29 円
	期末	29 円

<当期の配当に関する経営指標>

ROE	配当性向	DOE
8.8 %	40.3 %	3.6 %

<メモ>

見通しに関する注記事項

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。
それらにつきましては各資料作成時点においての経済環境や事業方針等の一定の前提に基づいて作成しております。
したがって、実際の業績は様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。